



学 校 通 信

平成30年度臨時号
平成31年3月20日
練馬区立開進第三小学校
校長 岡部 良美

日頃より、本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。
さて、平成30年12月に保護者の皆様に回答いただきました教育活動に関する保護者アンケートの結果をお知らせいたします。
ご多用の中ご協力いただき、95%の方から回答をいただきました。また、児童による自己評価結果もお伝えします。
この結果を参考とし、平成31年度の教育活動をより充実させてまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

Aよい・あてはまる

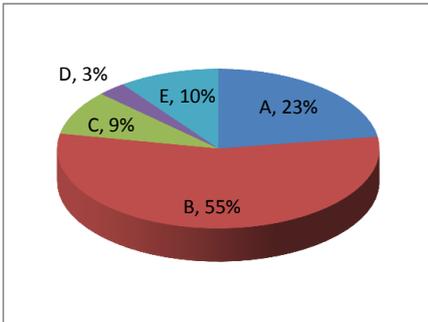
Bだいたいよい・だいたいあてはまる

Cあまりよくない・あまりあてはまらない

Dよくない・あてはまらない

Eわからない

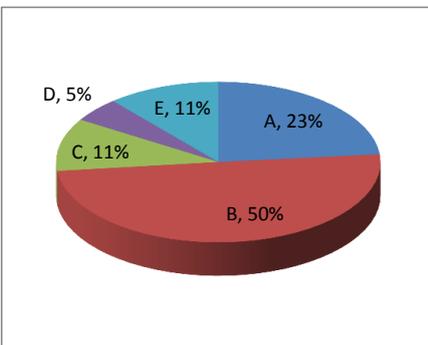
設問1 本校の教育目標 ○思いやりのある子供 ○実行する子供 ○健康な子供は、子供たちが飛躍する2030年代の飛躍的に変化する社会に対応できるものとなっている。



今回の結果や子供たちの実態、社会の動き、新学習指導要領実施等を受けて、本校では、来年度より教育目標を一部改訂します。

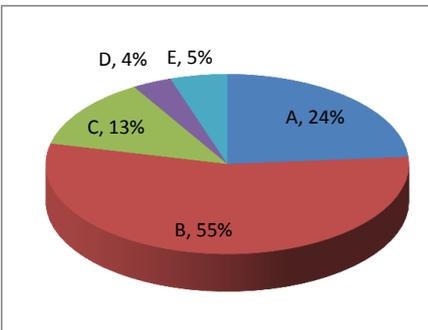
子供たちが今後、予想の難しい加速度的に変化する社会に対応できるよう、教育活動を構築し、その基礎となる力を付けていきたいと考えます。

設問2 教職員は、子供たちに誇りと自信をもたせる指導を進めている。



73%の肯定的な評価をいただきました。「待つ・聴く・受け止める・褒める」の姿勢を大切にした指導を続けてきた成果と考えます。今後も、児童一人一人への思いを深くし、深い信頼関係が結ばれるよう指導改善を図っていきます。そして、教師自らの指導力・授業力の向上を目指して努力を重ねます。

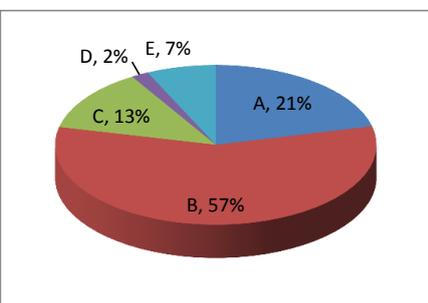
設問3 子供たちは、自己や他人のよさに気付いたり、自信をもって学習・生活しようとしている。



79%の肯定的な評価をいただきました。本年度は、自分や友達のよさに気付かせ、褒め、認める指導を重点的に行ってきました。見つけたよさを伝えることで、自分のよさを改めて知り、自分を好きになり、自信をつけることにつながると考えます。しかし、否定的な評価も17%あります。

今後も、子供たちの自己肯定感を高めていけるように意図的・具体的・組織的に指導を続けます。

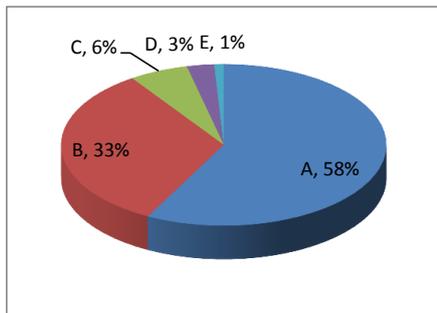
設問4 子供たちは、分かったこと、できたことを使って、自ら学ぼうとしている。



主体的に学ぶことができたり、見通しをもちながら課題解決を図ったりすることができるよう、問題解決学習を取り入れた授業をすすめてきましたが、昨年度より、約5パーセント評価が下がっており、78%の肯定的な評価をいただきました。

加速度的に変化する社会に対応できるようになるためには、自主性・思考力・判断力が必要です。今後も主体的に学び、自ら考える授業を展開するとともに、発表や討論し合う授業を進めます。また、学習を通して、考える楽しさ、分かる喜び、探究する価値を味わわせられるよう努力してまいります。

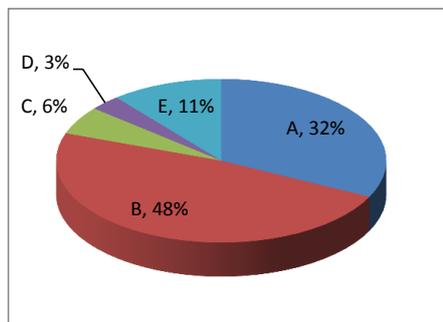
設問5 子供たちは、学校に楽しく通っている。



91%の肯定的な評価をいただきました。子供が学校は楽しいところであると感じ、友達と温かく関わり合い、安心して過ごすことができるようさらに指導を充実させます。また、スクールカウンセラーや心のふれあい相談員等連携を図り、相談体制を整えながら、指導や教育活動の改善を図っていきます。

そして、子供一人一人が『自分のよさが分かる楽しい学校』にしていきます。

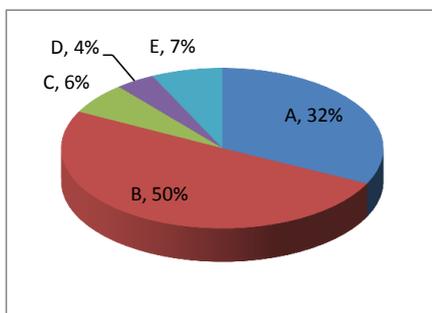
設問6 教師は、工夫して分かりやすい授業をしている。



80%の肯定的な評価をいただきました（昨年度比12%減）。

本校では、「開三授業スタンダード」を作成し、教室環境や授業準備、授業中の指導の仕方、授業後の評価等について全教員で共通理解を図り、指導をすすめています。しかし、結果を真摯に受け止め、「できた」「分かった」が味わえるよう、問題解決学習をすすめるとともに、板書、教材、ICT機器の活用、ペアやグループ学習の活用、学習形態等の工夫を重ね、興味・関心、自ら学ぶ意欲を高め、分かりやすい授業を展開します。さらに授業の中で、子供一人一人が自らの学びを振り返る時間を充実させてい

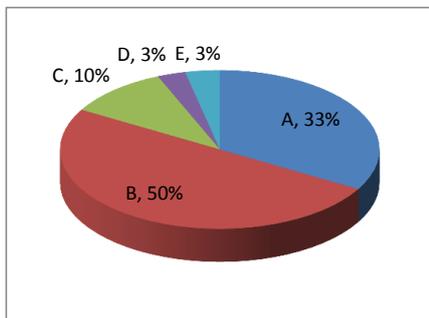
設問7 学校は、子供たちの基本的な規律(返事・あいさつ・あとしまつなど)の定着を目指して指導している。



本校では、「開三小のきまり(へんじ・あいさつ・あとしまつ)」があり、このきまりを守りながら、生活をしています。ほとんどの子供は、きまりを守っていますが、中には、自分勝手な行動をする子供もいます。

学校では、なぜそのようなきまりがあるのか、学校のきまりを守ってこそ楽しさがあるということをお子に分かりやすく指導を行っています。なかなか守ることができないことがあったときは、自分の行動を振り返らせ、自らの気づきを大切にしていきます。ご家庭から強い協力を得て、全員が気持ちよく過ごせるようにしていきます。

設問8 学校通信、学年通信、保護者会、連絡帳、学校ホームページなどを通して、子供の成長の様子や学習成果を伝えている。

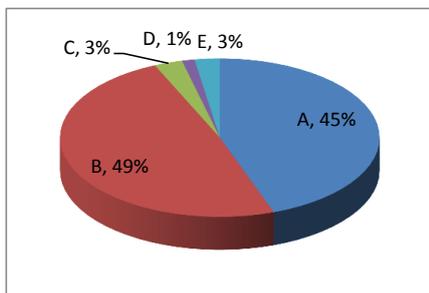


83%の肯定的な評価をいただきました（昨年度比8%増）。

保護者や地域の皆様に、本校の活動や取組を分かりやすくお伝えできるよう、学校通信、学年通信等の工夫を図ってきました。次年度は、内容の検討も含め、さらなる充実を図りたいと考えます。

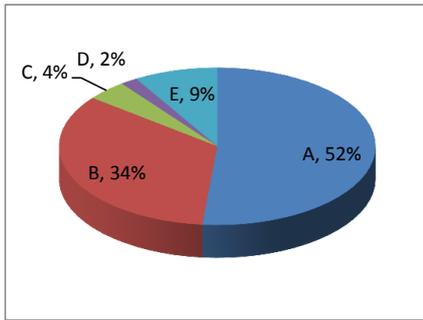
ホームページについては、内容や更新回数等課題が残っています。子供たちの様子など、定期的に更新し、情報を発信していきたいよう努力してまいります。

設問9 子供たちの成長を実感できる学校行事や特色ある教育活動が行われている。



94%の肯定的な評価をいただきました。行事を通して、子供たちは成長します。今後も子供たちのために持続可能な視点もふまえながら行事を精選し、内容の工夫を図りながら、教育活動のさらなる充実をめざしていきます。

設問10 吹奏楽団、合唱団、鼓笛行進は、特色ある教育活動として教育効果を高めている。

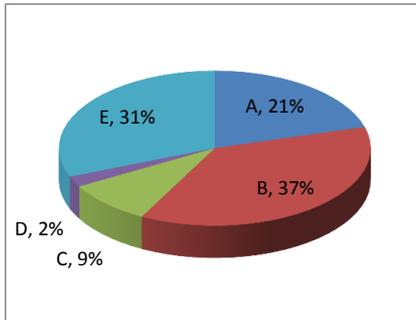


本校の教育活動の取組の一つとして「音楽を通じた情操豊かな心の育成」があります。第1学年から音楽専科による指導を行っています。課外活動として、吹奏楽団は4年生以上、合唱団は3年生以上の子供たちが活動し、校内だけでなく、地域や区、都の音楽際にも出演しています。

6年生になると、鼓笛行進に取り組みます。40年以上続けている活動で、運動会や6年生を送る会で演奏します。

今後は、指導内容を工夫しながら、情操豊かな子供たちを育成していきます。

設問11 学校と地域との連携授業(放課後算数教室等)は、教育活動の充実につながっている。



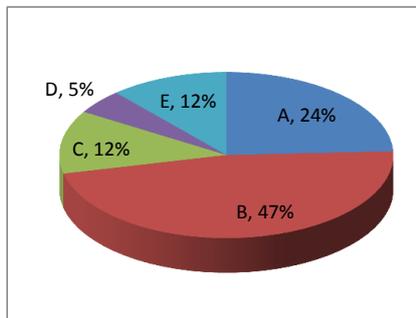
「よくない・分からない」との評価を多くいただきました。授業内容や方法等の周知が不足していたことが原因と思われます。

ゲストティーチャーをお招きした授業や2年生から4年生の一部を対象とした放課後算数教室がこれにあたります。

ゲストティーチャーからご指導いただくことで、今まで知らなかった世界が広がったり、本物体験につながったり、算数の個別指導や補充授業を行うことで、学習内容の定着を図ったりすることができると考えます。

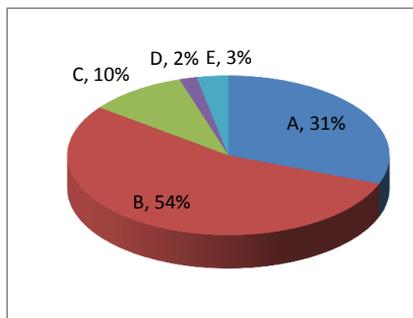
今後は、周知方法の改善を図り、内容をさらに充実させることに努めていきます。

設問12 学校や教職員には、相談しやすい体制や雰囲気がある。



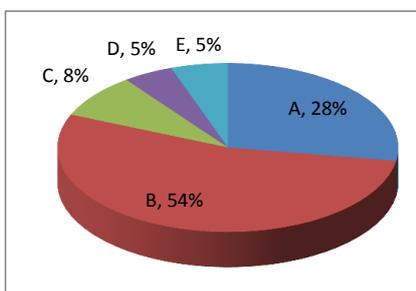
71%の肯定的な評価をしてくださっています。しかし、17%の方は、否定的であり、分からないと回答されたかたも12%います。この結果をしっかり受け止め、全教職員が迅速で丁寧な対応をすること、子供の話を最後まで聞き、いつでも相談しやすい雰囲気づくりを心がけること等を行い、学校全体で体制を整えていきます。

設問13 学校の教室や廊下、特別教室、校庭などは、環境整備が行き届いている。



昨年度よりよい評価をいただきました。掃除・片付けをしっかりとできる子供の育成を図りながら、子供が安全で落ち着いて生活できるように、より一層環境を整えていきます。

設問14 本校の教育に満足している。

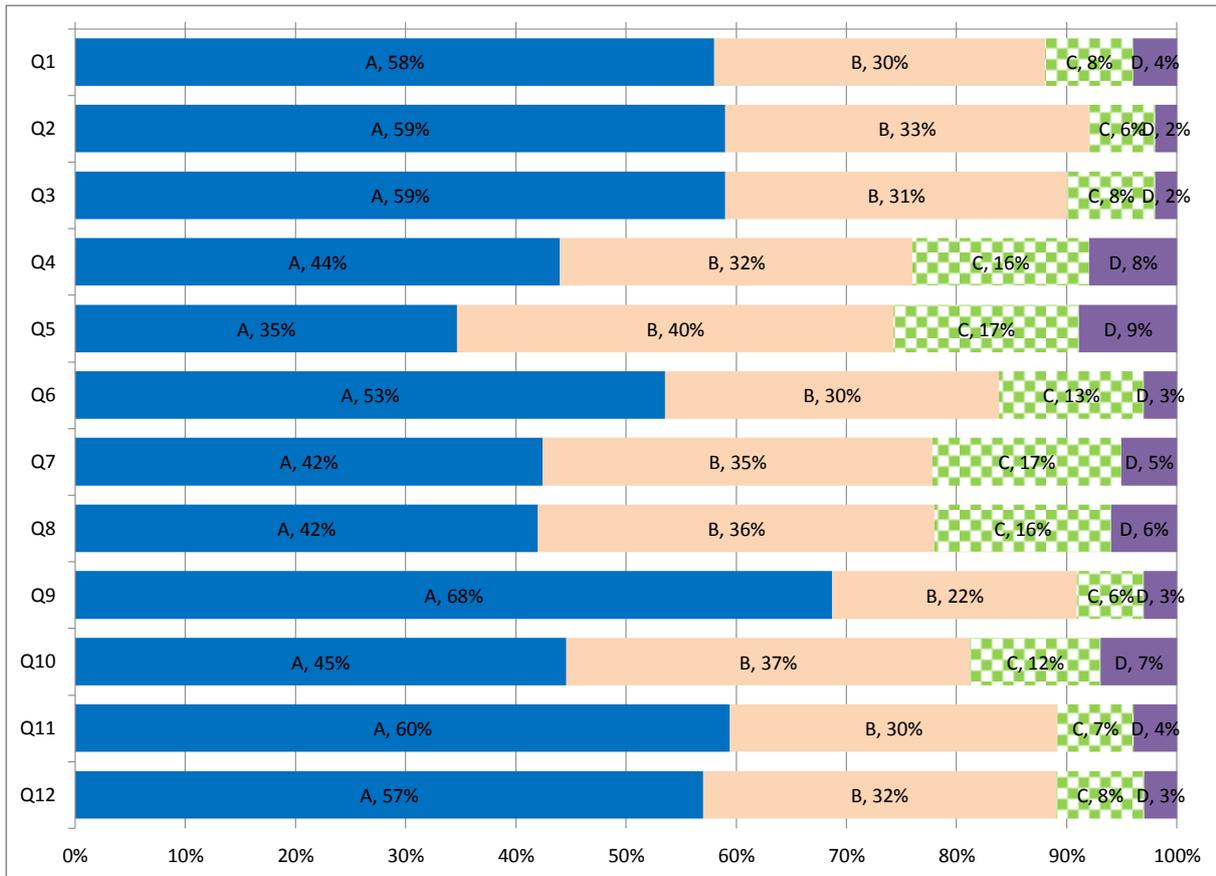


肯定的評価が82%でした。教員のさらなる指導力の向上、授業改善、生活指導の充実、環境整備の徹底等を図りながら、子供、保護者、地域の方々から信頼される学校を目指していきます。

学校の教育目標達成に向けて、計画されている教育活動を説明する機会を設けていき、社会に開かれた開三小の教育をめざします。

児童による自己評価

- Q1 学校での毎日が楽しい。
 Q2 授業が分かる。
 Q3 自分の力で考えながら学習している。
 Q4 友達との話合いのとき、自分の考えを発表している。
 Q5 授業の最後に学習の振り返りをしている。
 Q6 友達のよいところを見つけられる。
 Q7 自分のよいところを分かっている。
 Q8 友達は自分のよいところを認めてくれている。
 Q9 家の人は、自分のよいところを認めてくれている。
 Q10 先生は、自分のよいところを認めてくれている。
 Q11 相手のことを考えて感謝したり思いやりたりしている。
 Q12 「返事・あいさつ・あとしまつ」ができる。



A とても思う B やや思う C あまり思わない D 思わない

Q1 「学校の生活が楽しい。」の設問では、楽しいと感じている子供が88%にとどまりました。この結果を重く受け止め、あらためて「学校が楽しい」と感じられるようにしていきます。

Q4 「友達との話合いのとき、自分の考えを発表している。」の設問では、発表をしていると回答した子供は76%です。まずは80%をめざし、対話的な学習の充実と発表しやすい環境を工夫していきます。

Q5 「授業の最後に学習の振り返りをしている。」の設問では、振り返りをしている回答した子供は75%にとどまりました。一人一人の子供が自分の学びを振り返ることは、自己評価とともに、次の学びのめあてをもつ上で重要です。今年度より重視している学習活動の一部です。次年度も継続的に取り組み、子供自身に振り返りの効果を実感させていきます。

Q6からQ10までの設問は、本校が今年度より重点的に取り組んでいる『子供一人一人に誇りと自信をもたせる』に関わる設問です。「自分のよさが分かる。」「友達は自分のよいところを認めてくれている。」の回答は、肯定的な評価は80%に達していません。今後、よさを見つけて認める場面や取組をさらに充実させていきます。子供たち同士が認め合う、教師がよさを認め、褒めて、励ますことで、子供一人一人が誇りと自信をもち、前向きに進む意欲と他を大切にできる気持ちを育てていきます。

Q12 「返事、あいさつ、あとしまつができる。」の設問では、89%の肯定的な評価の回答となっています。しかし、さらに質が高まるように、学校と家庭とで共通の方向で、子供たちを育てていきたいと思いま